



子ども SOS そだんフォーム 「タッチ (TOUCH)」の運用開始について

1 事業の目的

悩みを抱えた児童生徒を早期に発見し、対面での支援や組織での対応につなげるとともに、思いを受け止めもらうことで、周りの人とつながる良さに気づき、児童生徒が自ら SOS を発信していこうとする力を育てる。

2 内容

いじめやからかい、家庭生活で困ってつらいと感じている児童生徒に、周りの目が気になって自分から教師に相談することが難しい場合もある。また、その悩みを誰に相談したらよいかわからず、一人で苦しむ児童生徒もいる。

これまで佐久市では、コスモス相談の先生による電話相談を行ってきたが、そこに新たな相談手段の一つとして一人一台のタブレット端末を活用したフォームによる相談窓口を開設し、学校と連携して対応をしていく。

①タブレット上のアイコンをクリック ⇒ ②どんな悩みを、誰に相談したいかを選択 ⇒ ③教育委員会事務局へ送信 ⇒ ④相談したい相手につないで対応

3 対象

佐久市立の小学校1年生から中学3年生の児童生徒

4 運用予定

- (1) 令和5年5月8日（月）から市内小学校1校にて試験運用開始
- (2) 6月から、全ての佐久市立の小中学校で運用を開始

5 対応時間

8:30～17:15（土日祝日、年末年始は休み）

佐久市教育委員会事務局 学校教育課で対応

※端末からのフォーム送信は24時間可能

※すぐに話を聞いてほしい児童生徒のためには（夜間、休日の相談先として）、24時間子ども SOS ダイヤル等をアンケートフォーム内に記載

6 周知について

学校を通して児童生徒、保護者へ周知する。

7 『タッチ (TOUCH)』命名について

子ども自身が悩みや助けを

(H e l p)

一人一台タブレット端末を子どもたち自らが使って発信し

(U s e)

相談する相手を選び

(O p t i o n)

子どもたちのつらい気持ちを大人が掴んで

(C a t c h)

悩みを伝えられる、話を聞いてもらえる機会につなげる

(T a l k)

Talk

Option

Use

Catch

Help

子どもたち自身が生涯を歩み続けるための大切な力を育むためのフォームであり、その一歩を踏み出すために、このアイコンを「タッチ」してほしいと願い、子ども SOS そだんフォーム「タッチ (TOUCH)」と命名した。

「子どもSOSそだんフォーム『タッチ(TOUCH)』」の活用イメージ

佐久市立小・中学校の児童生徒が抱えている悩みを発信する

